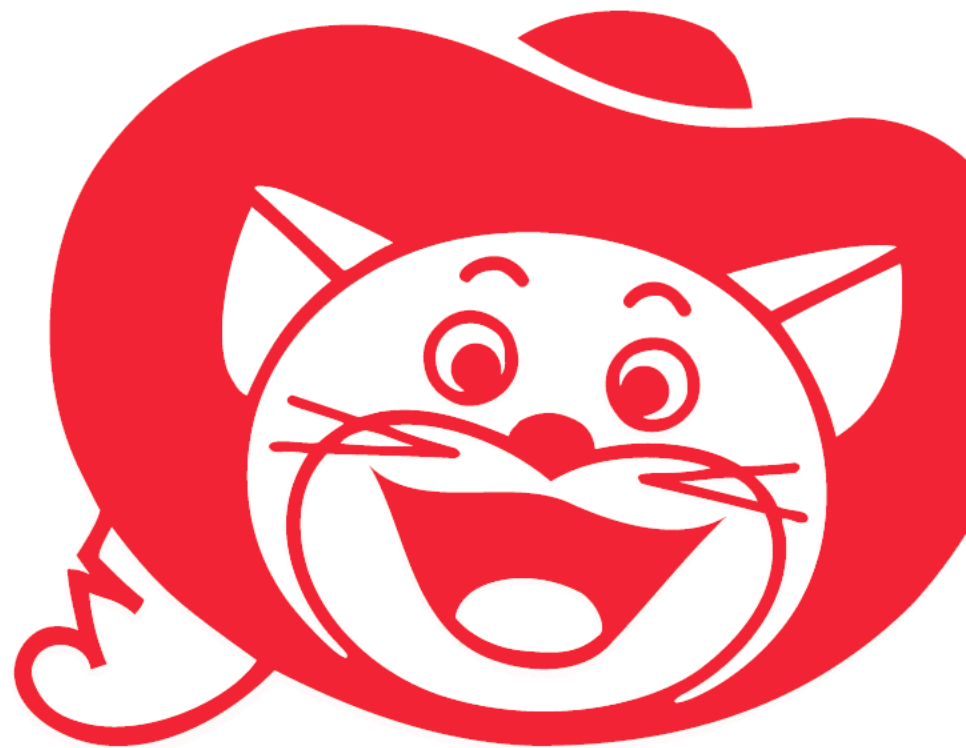


決算補足資料

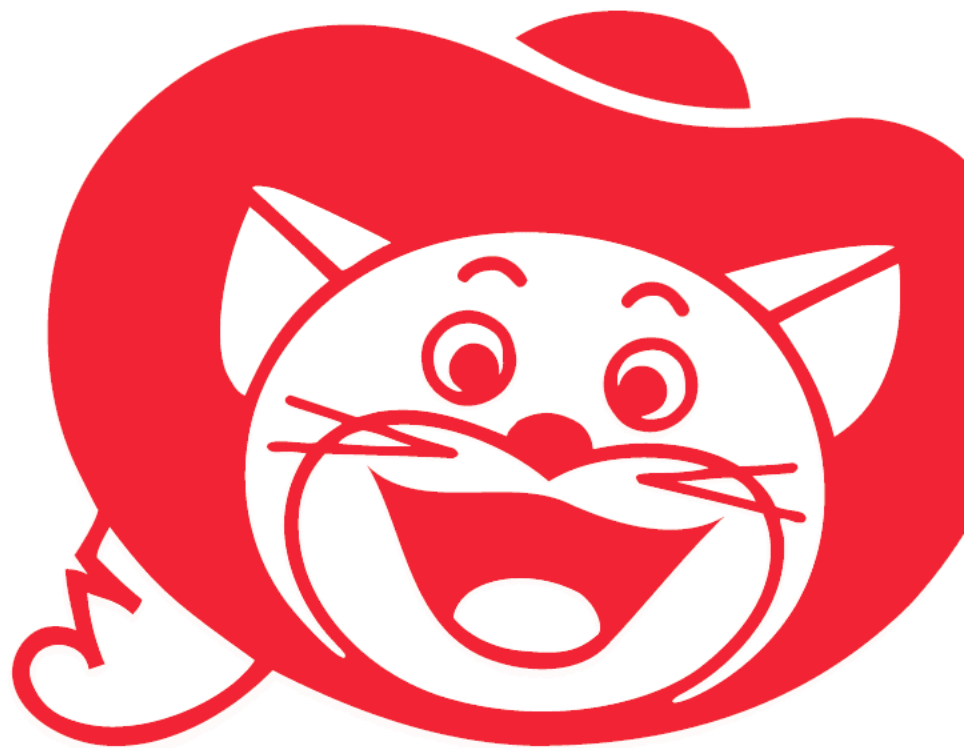


2024年3月期 第3四半期決算(2023/4~2023/12)
東映アニメーション株式会社

TOEI ANIMATION CO.,LTD.

CONTENTS

- 01. 2024年3月期 第3四半期 業績報告
- 02. 今期の見通し
- 03. 今後の事業展望について



01. 2024年3月期第3四半期
業績報告



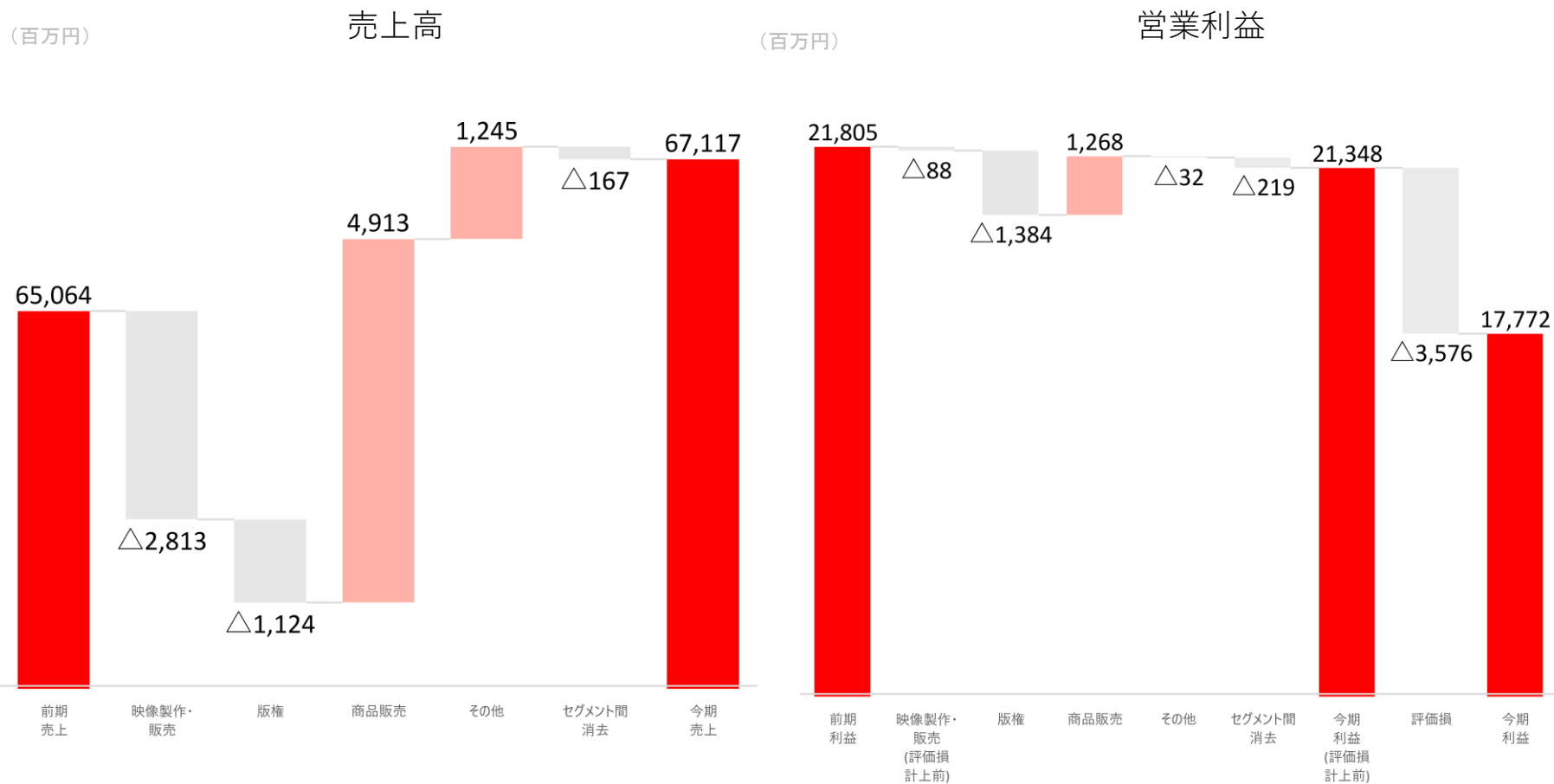
決算サマリー

- 売上高は第3四半期累計として過去最高。営業利益は大型劇場3作品を公開した前年度に次ぐ2番目の水準
- 前年同期に公開した大型劇場3作品の大ヒットによる波及効果が継続、商品販売事業に加え、海外における配信権販売が業績を牽引
- 「聖闘士星矢 The Beginning」に関する評価損を計上するも、好調な業績を維持し、通期予想を上方修正

(百万円)	2024年3月期 第3四半期累計			2024年3月期 第3四半期(2023年10月～12月)				
	実績	前年同期		実績	前年同四半期 FY2022/3Q(2022年10月～12月)		前四半期 FY2023/2Q(2023年7月～9月)	
		実績	YonY		実績	YonY	実績	QonQ
売上高	67,117	65,064	3.2%	20,933	22,613	△7.4%	26,300	△20.4%
売上総利益	27,887	29,744	△6.2%	9,900	10,436	△5.1%	12,458	△20.5%
販管費	10,114	7,939	27.4%	3,493	2,825	23.6%	3,188	9.6%
営業利益 (営業利益率)	17,772 (26.5%)	21,805 (33.5%)	△18.5% (△7.0%)	6,406 (30.6%)	7,610 (33.7%)	△15.8% (△3.0%)	9,270 (35.2%)	△30.9% (△4.6%)
営業利益 ※除く評価損影響 (営業利益率)	21,348 (31.8%)	21,805 (33.5%)	△2.1% (△1.7%)	-	-	-	-	-
経常利益	20,300	22,796	△10.9%	6,443	7,272	△11.4%	9,919	△35.0%
当期純利益	14,593	16,502	△11.6%	4,352	4,980	△12.6%	7,120	△38.9%

前年同期比増減

- 売上高は、商品販売事業、その他事業が好調に稼働したものの、前年同期に公開した大型劇場3作品の反動減により、映像製作・販売事業、著作権事業が減収
- 営業利益は、第1四半期における「聖闘士星矢 The Beginning」に関する棚卸資産の評価損計上により大幅減益
- 上記影響を除いた営業利益は約213億円と、過去2番目の水準



2024年3月期第3四半期 セグメント別内訳

- 映像製作・販売事業は、海外配信権販売が引続き好調も、前年同期に公開した大型劇場3作品の反動減や、「聖闘士星矢 The Beginning」に関する評価損計上により、減収減益
- 著作権事業は、「ワンピース」の商品化権、ゲーム化権販売が好調に稼働したが、「ドラゴンボール」シリーズの商品化権、ゲーム化権販売が前年同期の勢いには至らなかったこと等から減収減益
- 商品販売事業は、映画「THE FIRST SLAM DUNK」の公開終了後、劇場物販並びにEコマースが足元減速するも、「ワンピース」、「プリキュア」シリーズのショップ事業が好調に稼働したことにより、大幅な増収増益

(百万円)		2023年3月期 第3四半期 実績	2024年3月期 第3四半期 実績	増減率
映像製作・販売事業	売上高	29,277	26,464	△9.6%
	セグメント利益	8,534	4,869	△42.9%
著作権事業	売上高	31,254	30,129	△3.6%
	セグメント利益	15,711	14,327	△8.8%
商品販売事業	売上高	3,519	8,432	139.6%
	セグメント利益	204	1,473	619.6%
その他事業	売上高	1,186	2,431	105.0%
	セグメント利益	48	16	△65.9%
連結	売上高	65,064	67,117	3.2%
	営業利益	21,805	17,772	△18.5%

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

2024年3月期第3四半期 セグメント別分析①（映像製作・販売）

(百万円)		23/03. 3Q 実績	24/03. 3Q 実績
売上全体		65,064	67,117
映像製作・販売事業		29,277	26,464
	劇場アニメ	5,919	2,296
	テレビアニメ	2,266	2,186
	コンテンツ	290	297
	海外映像	17,180	18,284
	その他	3,620	3,399
著作権事業		31,254	30,129
	国内著作権	11,950	12,113
	海外著作権	19,303	18,016
商品販売事業		3,519	8,432
その他事業		1,186	2,431

映像製作・販売事業（ ↓ 前年同期比9.6%減）

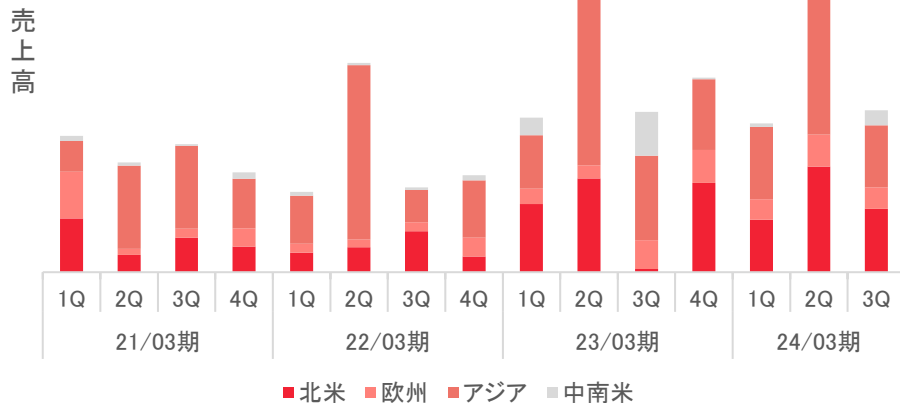
- 「劇場アニメ」は、「映画プリキュアオールスターズF」、映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」が好調に推移したものの、前年同期に公開し、大ヒットした映画「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」、「ONE PIECE FILM RED」、「THE FIRST SLAM DUNK」の反動により、大幅な減収
- 「テレビアニメ」は、前年同期と比較して放映作品数が減少したことから、若干の減収
- 「コンテンツ」は、「ONE PIECE FILM RED」のブルーレイ・DVD発売により、若干の増収
- 「海外映像」は、前年同期好調に稼働した映画「ドラゴンボール超スーパーヒーロー」の海外上映権販売の反動減があったものの、「ワンピース」の海外配信権販売、映画「THE FIRST SLAM DUNK」の海外上映権販売が好調だったことから、増収
- 「その他」は、国内の映像配信権販売が前年同期の勢いには至らなかったこと等から、減収

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

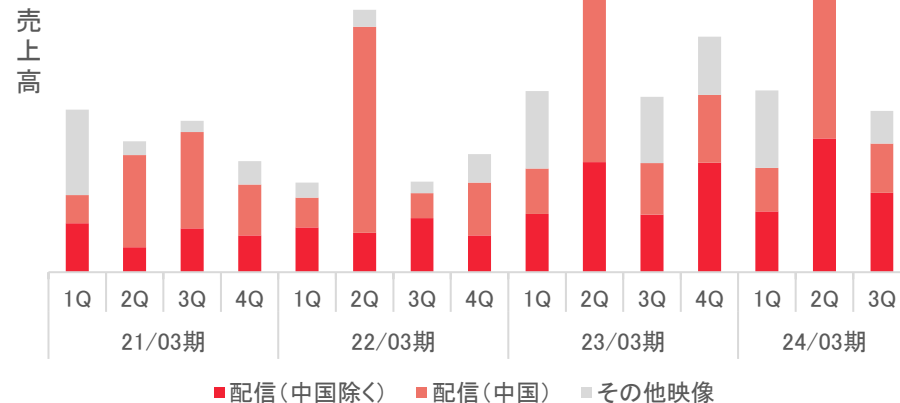
海外映像の状況

- 前年同期に公開した映画「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」の上映権販売の反動減があるも、映画「THE FIRST SLAM DUNK」のアジア向け上映権販売が好調に推移
- 「ワンピース」のアジア・北米向け配信権販売が好調に稼働

海外映像 売上高の推移



事業内訳





「映画プリキュアオールスターズF」

- ・ 2023年9月15日より公開
- ・ 国内興行収入14.5億円突破
- ・ 観客動員数100万人突破



「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」

- ・ 2023年11月17日より公開中
- ・ 国内最終興行収入23億円突破
- ・ 観客動員数160万人突破

※興行収入、観客動員数は1月26日時点

2024年3月期第3四半期 セグメント別分析②（著作権・商品・その他）

(百万円)		23/03. 3Q 実績	24/03. 3Q 実績
売上全体		65,064	67,117
映像製作・販売事業		29,277	26,464
	劇場アニメ	5,919	2,296
	テレビアニメ	2,266	2,186
	コンテンツ	290	297
	海外映像	17,180	18,284
	その他	3,620	3,399
著作権事業		31,254	30,129
	国内著作権	11,950	12,113
	海外著作権	19,303	18,016
商品販売事業		3,519	8,432
その他事業		1,186	2,431

著作権事業（↓ 前年同期比3.6%減）

- 「国内著作権」は、「ドラゴンボール」シリーズのゲーム化権販売が前年同期の勢いには至らなかったものの、「ワンピース」のゲーム化権販売、商品化権販売が好調に稼働したこと等から、ほぼ横ばい
- 「海外著作権」は、「デジモン」シリーズ、「ドラゴンボール」シリーズの商品化権販売が前年同期の勢いには至らなかったこと等から、減収

商品販売事業（↑ 前年同期比139.6%増）

- 映画「THE FIRST SLAM DUNK」の劇場物販並びにEコマース、「ワンピース」、「プリキュア」シリーズのショップ事業が好調に稼働したこと等から、大幅な増収

その他事業（↑ 前年同期比105.0%増）

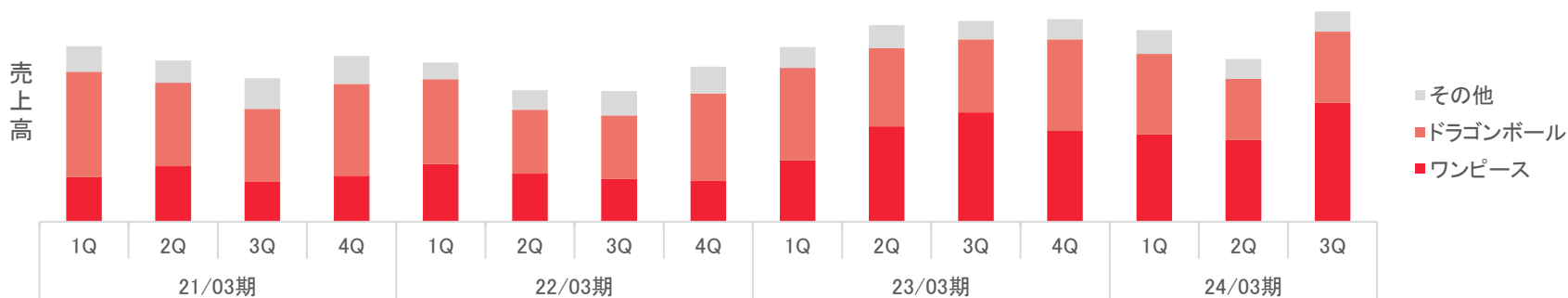
- 「プリキュア」シリーズの催事が好調に稼働したこと等から、大幅な増収

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

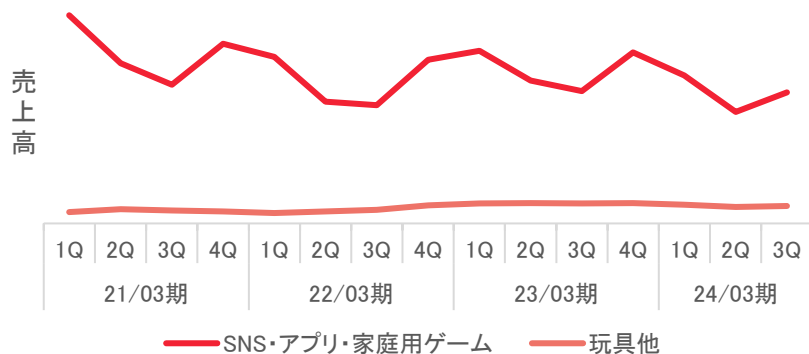
国内版権の状況

- 「ドラゴンボール」シリーズは、ゲーム化権が前年同期の勢いに至らず、減収
- 「ワンピース」は、カードゲーム等の商品化権に加え、ゲーム化権が前年度の映画公開時を上回る勢いで好調に推移し、増収

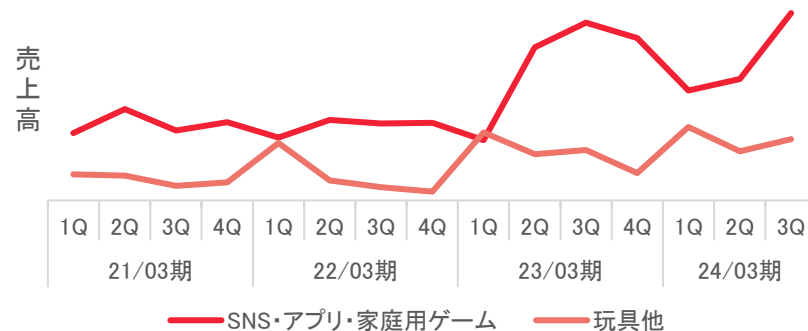
国内版権売上高の推移



ドラゴンボール国内版権売上高の推移



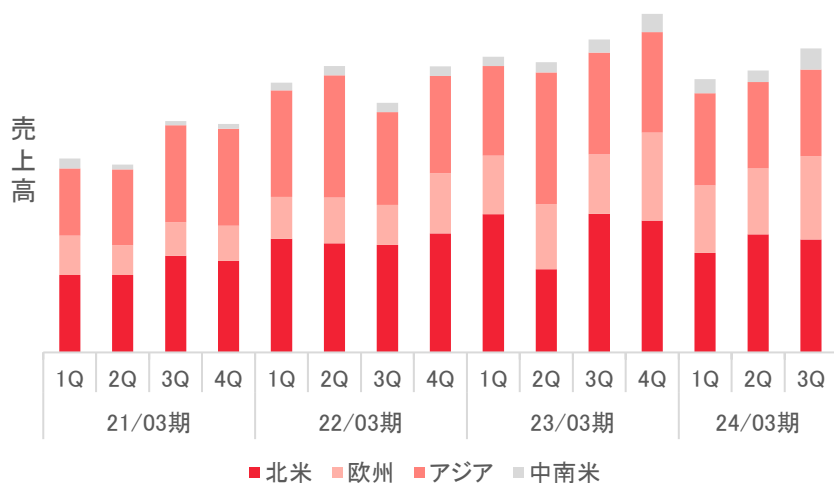
ワンピース 国内版権売上高の推移



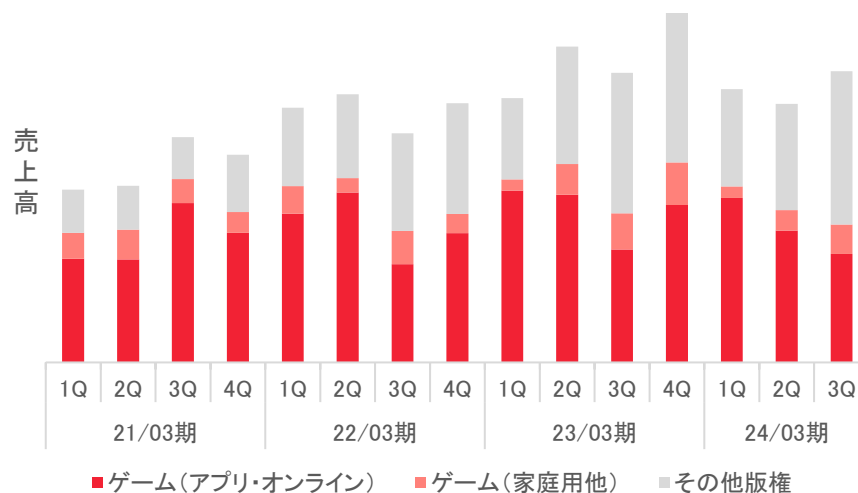
海外版権の状況

- 「ワンピース」は複数年にわたる露出拡大施策や、前年同期公開の映画により認知度が上昇し、欧米中心にカードゲーム等の商品化権が好調
- ゲーム化権については、前年同期にコラボキャンペーンを実施した「ドラゴンボール」シリーズ中心に減収

海外版権 売上高の推移



事業内訳



国内版權



「ONE PIECE バウンティラッシュ」



「一番くじ ワンピース BEYOND THE LEVEL」

海外版權



「ONE PIECEカードゲーム」



「ONE PIECE フィギュア」

商品販売



「ONE PIECE 麦わらストア」 (池袋店)



「プリキュア プリティストア」 (大阪本店)

2024年3月期第3四半期 決算総括

- 第1四半期に引続き、商品販売事業が好調を維持、加えて海外配信権が業績を牽引、第3四半期累計で過去最高の売上を達成
- 第1四半期に「聖闘士星矢 The Beginning」にかかる棚卸資産の評価損を計上するも、好調な業績を維持し、通期業績予想を上方修正
- 営業外収益の大部分は、為替差益計上によるもの (百万円)

	22/12実績	23/12 実績	増減	増減率
売上高	65,064	67,117	2,053	3.2%
売上原価	35,320	39,230	3,910	11.1%
売上総利益	29,744	27,887	△1,857	△6.2%
販管費	7,939	10,114	2,175	27.4%
営業利益	21,805	17,772	△4,032	△18.5%
営業外収益	1,235	2,588	1,352	109.5%
営業外費用	244	59	△184	△75.4%
経常利益	22,796	20,300	△2,495	△10.9%
特別損益	-	50	50	-
税引前当期純利益	22,796	20,351	△2,444	△10.7%
法人税等	6,636	5,537	△1,098	△16.6%
法人税等調整額	△342	220	563	-
少数株主利益	-	-	-	-
当期純利益	16,502	14,593	△1,909	△11.6%

B/Sのダイジェスト

- 製作品は、第1四半期における「聖闘士星矢 The Beginning」の評価損計上により、大幅な減少
- 流動資産のうち、その他項目は税金還付やデリバティブ債権の評価額上昇により、増加

(百万円)

科目	2023/03	2023/12	増減	科目	2023/03	2023/12	増減
現金及び預金	66,909	72,366	5,457	支払手形・買掛金	22,763	18,621	△4,142
受取手形及び売掛金	24,975	22,797	△2,178	その他	12,386	7,552	△4,834
仕掛品	8,417	8,656	239	流動負債	35,150	26,173	△8,977
製作品	3,716	443	△3,273	固定負債	855	1,629	773
その他	6,683	10,368	3,684	負債合計	36,006	27,802	△8,203
流動資産	110,702	114,631	3,929	株主資本	108,768	117,070	8,302
有形固定資産	8,392	8,232	△159	その他の包括利益累計 合計額	5,734	8,237	2,503
無形固定資産	1,184	1,154	△29	純資産合計	114,502	125,308	10,805
投資その他の資産	30,229	29,091	△1,138				
固定資産	39,806	38,479	△1,326				
資産合計	150,508	153,111	2,602	負債及び純資産合計	150,508	153,111	2,602

02. 今期の見通し



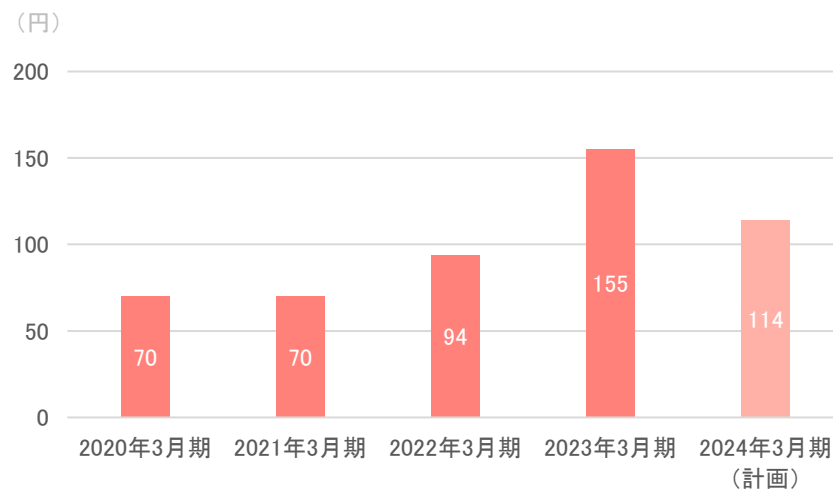
通期業績予想の修正並びに配当について

- 第3四半期累計で、前年度に公開した映画の波及効果が継続し、国内における配信権販売や、商品化権販売、並びに商品販売事業が期初見込みを上回り好調に推移したため、上方修正
- 配当予想については、前期と同程度の配当性向を適用し、1株あたり114円に修正

2024年3月通期業績予想修正

(百万円)	前回予想 (10/24)	修正予想 (1/29)	増減額	増減率
売上高	82,000	83,000	+1,000	1.2%
営業利益	19,000	20,500	+1,500	7.9%
経常利益	20,000	21,500	+1,500	7.5%
当期純利益	13,500	15,500	+2,000	14.8%

期末配当



03. 今後の事業展望について



作品ポートフォリオ



	2023年度		2024年度		2025年度	
	映画	シリーズ等	映画	シリーズ等	映画	シリーズ等
世界向け新規/ライブラリ	1本	5本	1本	4本	2本	2本
世界向け既存	4本	1本	0本	2本	1本	2本
国内向け既存	1本	5本	2本	7本	3本	4本
国内向け新規/ライブラリ	0本	5本	0本	3本	0本	2本

※見込み

中長期の成長に向けた取り組み(作品展開)

既存IPの育成

24年3月期公開作品



「キボウノチカラ
～オトナプリキュア'23～」
NHK Eテレにて
2023年10月より放送



「デジモンアドベンチャー02
THE BEGINNING」
2023年10月27日(金)
より公開



「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」
2023年11月17日(金)
公開



「映画おしりたんてい
さらば愛しき相棒(おしり)よ」
2024年3月20日(水・祝)
公開予定



「ドラゴンボールDAIMA」
2024年秋

25年3月期公開作品

新規IPの創出/ライブラリ



「スパイシーキャンディ」
東映動漫(上海)の初企画
オリジナル音楽アニメ



「MOGMOG PLANET」
東映動漫(上海)出資
短編アニメ作品
2023年10月全世界で展開開始



「花仙子之魔法香対論(原題)」
TVアニメ『花の子ルンルン』のリメイク、東映動漫(上海)と
Tencent Videoの初共同製作作品2025年に配信開始予定



「Le Collège Noir(原題)」
フランスのスタジオとの共同製作
2023年10月31日現地配信開始



「アサティール」
サウジアラビアとの
共同制作TVシリーズ
シーズン2制作決定

ハリウッド型モデル作品



「The Monkey Prince(仮)」
日中米共同合作作品
グローバル市場を見据えた
ファミリー向けアニメーション

国内市場向け作品



「ガールズバンドクライ」
完全新作オリジナルアニメ
2024年4月放送開始予定

展開スケジュール

Schedule

24/03期
3Q

- 「キボウノチカラ～オトナプリキュア'23～」放送開始[10/7]
- 映画「デジモンアドベンチャー02 THE BEGINNING」公開 [10/27]
- 「悪魔くん」Netflixシリーズとして全世界独占配信 [11/9]
- 映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」公開 [11/17]
- ONE PIECEカードゲームブースターパック 双壁の覇者【OP-06】発売[11/25]

24/03期
4Q

- 「わんだふるぷりきゅあ！」放送開始予定 [2/4]
- ONE PIECEカードゲームブースターパック 500年後の未来【OP-07】発売予定[2/24]
- 「THE FIRST SLAM DUNK」Blu-ray/DVD発売予定 [2/28]
- 「映画おしりたんてい さらば愛しき相棒(おしり)よ」公開予定 [3/20]

25/03期
1Q以降

- 「ガールズバンドクライ」放送開始予定 [24年4月]
- 「ドラゴンボールDAIMA(ダイマ)」[24年秋]
- 「魔法つかいプリキュア！ 2 (仮)」[24年度]
- 家庭用ゲーム「ドラゴンボール Sparking! ZERO」発売予定 [時期未定]
- 国際合作アニメーション映画「The Monkey Prince (仮)」公開予定 [時期未定]

時期未定

- 映像製作・販売事業
- 著作権事業
- 商品販売事業
- その他事業

Topics

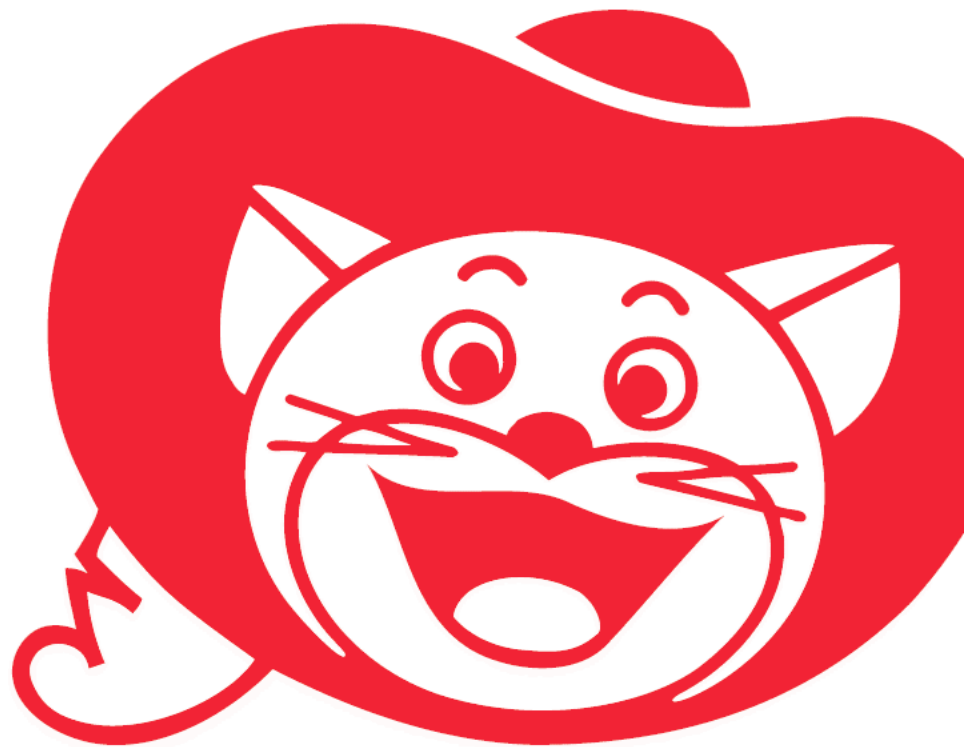
24年3月期第3四半期の映像作品の状況

- 「映画プリキュアオールスターズF」
 - 2023年9月15日公開
 - 興行収入14.5億円を突破
 - シリーズ最大ヒットを記録
- 映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」
 - 2023年11月17日公開
 - 興行収入23億円突破（24年1月26日時点）

新作映像展開

- 「わんだふるぷりきゅあ！」
 - 2024年2月4日 放送開始予定
- 「映画おしりたんてい さらば愛しき相棒(おしり)よ」
 - 2024年3月20日 公開予定
- 「ガールズバンドクライ」
 - 2024年4月 放送開始予定
- 「ドラゴンボールDAIMA(ダイマ)」
 - 2024年秋 展開予定
- 「魔法つかいプリキュア！ 2 (仮)」
 - 2024年度 放送開始予定

TOEI ANIMATION CO.,LTD.



【見通しに関する注意事項】

当資料に記載されている内容は、現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいており、記載された将来の計画数値、戦略、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。